

CODE BLUE SEMINAR report 2nd

コード・ブルー
セミナーレポート



順天堂大学 医学部 附属 静岡病院
JUNTENDO UNIVERSITY SHIZUOKA HOSPITAL



広報委員会 委員長 最上 敦彦

「コード・ブルー」とは患者さんの容態に急変が生じた場合に用いられる救急コールのことです。ご存知のように、ドクターヘリを有する順天堂大学医学部附属静岡病院は静岡県東部・伊豆地区における救急医療の最後の砦です。この日本初の救急医療に特化した「コード・ブルーセミナー」に参加してくれた地域の子どもたちが、いつの日か順天堂の救急医療の担い手となって帰って来てくれることを願っています。

ドクターヘリポート見学

今回のセミナーは、地域の子
どもたちに少しでも当院や医療
に対する興味・関心を持ってもら
おうと準備を進めてきた企画
です。当日は300人以上の応募
者から抽選で選ばれた24人の
小中学生が参加し、実際の医療
現場で使用する実物を用いた各
種医療体験を通じ、救急医療に
携わる医師・看護師・スタッフ
と交流をしていただきました。

医療の現場がはじめてのお子
さんが多いとあって、子どもた
ちの新鮮な驚きやイキイキとし
た表情が印象に残りました。

2019年5月25日(土)に開催
したコード・ブルーセミナーの
模様をレポートいたします。

CODE BLUE SEMINAR report

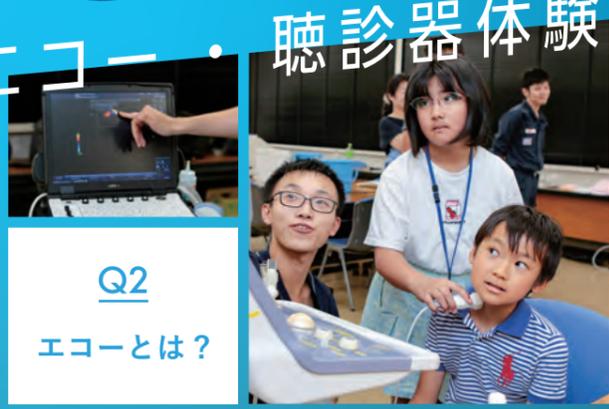
Q1
ドクターヘリ
って？

A1
医療機器を装備したヘリ
コプター。医療スタッフ
をいち早く現場へ送り込
み、患者さんを搬送する
ことができます。



エコー・聴診器体験

Q2
エコーとは？



A2
体の表面に機器を当て
るだけで、体内の層面
をリアルタイムで観察
できる医療機器です。



ギプス固定体験

Q3
ギプスとは？



A3
水に浸けることで硬化するプラスチック
とフェルトのクッション材を組み合
わせたもの。折れた骨をもとの位置に
戻し、固定する為に使用します。

手術縫合体験

Q4
しゅじゅつほうごう
手術縫合
とは？



A4
傷口や手術時の切
り口を縫合してふ
さぐ技術。
傷口を密着させて
治癒を早める効果
があります。



参加者の声

手術縫合体験がとても印象に残っています。最初は縫い方がよく分からなかったですが、先生と一緒にやってくれたので楽しく取り組むことができました。ドクターヘリポート見学ではヘリの中に色々な器具があることがよく分かり、現場へ飛び立つヘリを見ることができ、とても貴重な体験ができました。



小学5年 ルイさん



中学3年 ひかりさん

憧れだった女性医師と実際に話をすることができ、とても嬉しく新鮮な経験になりました。将来は順天堂大学に入学し医学の道に進みたいと考えているので、これから受験勉強に力を入れていきたいと思えます。

関係者の声

救急診療科 医師
大森 一彦



普段は立ち入る機会のない医療の現場ということもあり、最初は皆さん緊張で表情が硬かったですが、色々な体験に取り組む中で緊張もほぐれ、最後には笑顔も見ることができ大変良かったと思います。今日の体験を通じて医療に興味を持てただけだことを非常に嬉しく感じます。

救命救急センター 看護師
松尾 基樹



今回のセミナーでは、子どもたちとの交流を通じ自分自身とても楽しくご案内ができました。また、子どもたちはもちろん親御様にも、病院の内部の様子を見ていただける良い機会になったのではないかと思います。いつか今日来てくれた子どもたちが医療従事者になってくれたら非常に嬉しいです。

地域医療連携室 事務
小林 眞穂



今回のセミナーでは、ドクターヘリポートのご案内をさせていただきました。今年入職し、私自身初めてドクターヘリが人を救うために現場に出勤する様子を近くで見ることができ、非常に感動しました。従業員として誇りに感じます。